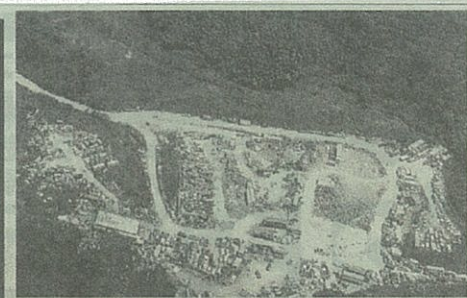
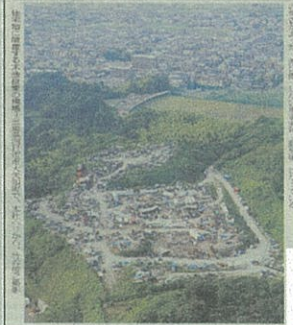


四日市大矢知 (不適正処分)

朝日新聞 H17.6.14

286万m³
(安定型最終処分場
許可容量217万m³)



大量の産業廃棄物が不法投棄されていた処分場(三重県四日市市で、本社へりから)

無許可産廃130万立方メートル
四日市

三重県四日市市大矢知町産廃処理場川越村興業の産業廃棄物処分場は、県(建設部長)が管理の許可容量を約130万立方メートルに引き上げ、以上の容量を超過する産業廃棄物を投棄していたことが、同県が15日、同処分場に38万立方メートルの調査で明らかになった。同県は、同処分場の調査で明らかになった容量を超過していた。同県は、不法投棄を防止するために、同処分場に改築命令を出す方針。同処分場は、同県で、従わない場合は罰金100万円を課せられる。処分場の処理能力不足を補うため、同県は、同処分場の処理能力を向上させる。同県は、同処分場の処理能力を向上させる。同県は、同処分場の処理能力を向上させる。

読売新聞 H17.6.15



不法投棄等産業廃棄物の都道府県別残存量

(都道府県・政令市別、平成18年度末時点)

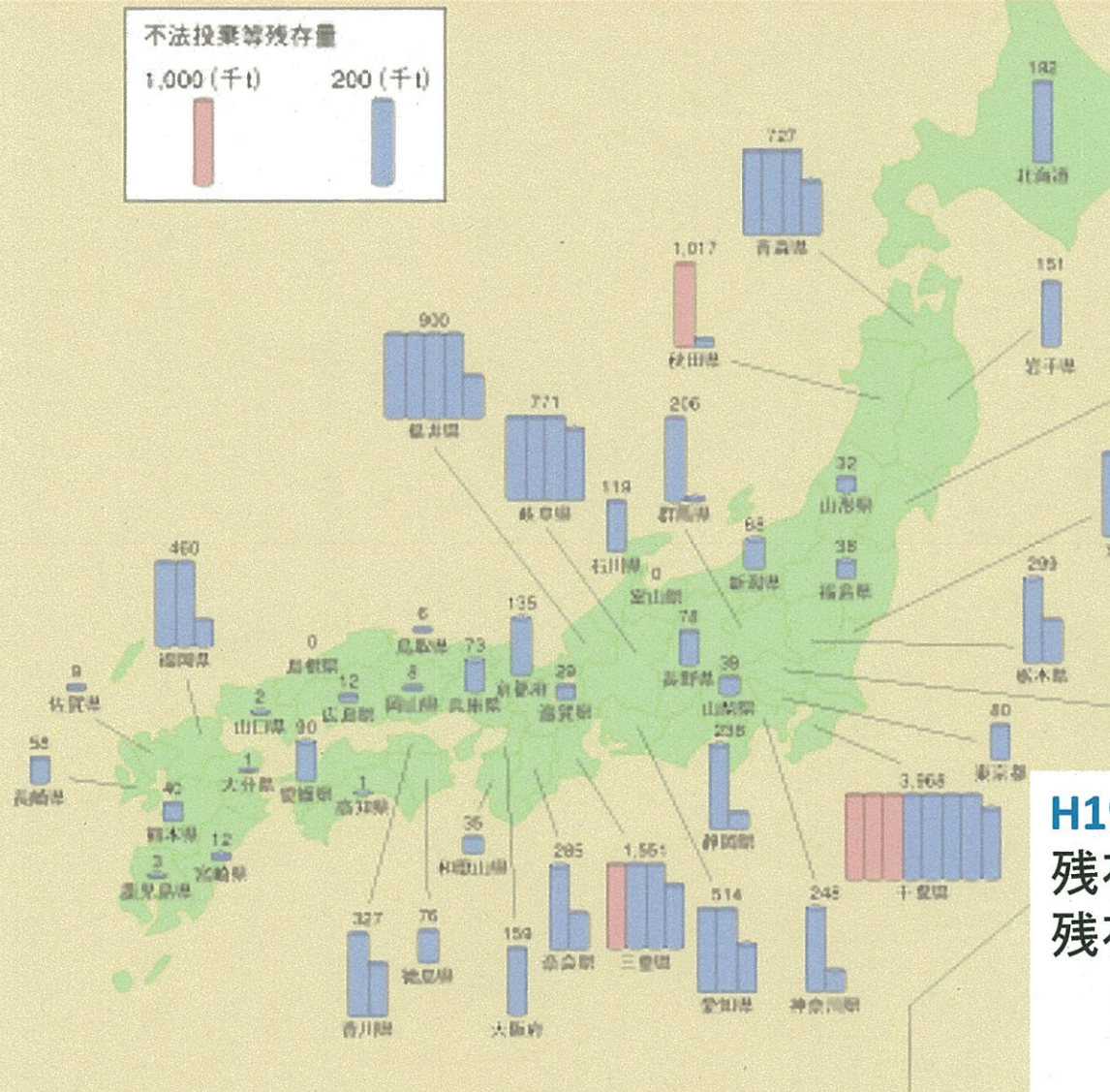


H18年度末

(平成19年12月26報道発表資料)

残存件数: **2,774**件

残存量の合計: **1,565.3**万トン



H19年度末 (平成20年12月25日報道発表資料)

残存件数: **2,753**件

残存量の合計: **1,633.6**万トン

内、H10年6月以降: **242.4**万トン

〔内、支障有り: **47**万トン
支障不明: **108.9**万トン〕

注: 上記は、全国の都道府県及び保健所設置市が平成17年時点において把握している産業廃棄物の残存量が判明しているものを都道府県別に集計したものです。

資料: 環境省